

産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業計画書（収益性向上対策）
（都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書）

都道府県名 栃木県

報告：令和3(2021)年 8月 31日

I 産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1 成果目標

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標																スマート農業推進枠	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性											
					現状				目標				実績				導入・定着の取組の実施内容	事業実施前年度	目標年度																							
					年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は 出荷量 単位	価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位				生産量又は 出荷量 単位		価格(販売単価) 単位	生産コスト 単位																			
R3 評価【達成】	大田原農業再生協議会	7	那須地域	ねぎ たまねぎ	ねぎの調整・選別作業の省力・作業時間を軽減するため、調整・選別施設を整備すると共に、機械導入により地域のねぎ農業者及び水稲から園芸作物(ねぎ等)の作付転換する農業者の生産拡大と所得向上に務め、ねぎ産地の体制強化に取り組む。	販売金額の48%以上の増加	28	(447,439千円) 433,112千円 (生産支援事業と整備事業の重複を除いた実数)	59.8 ha	ねぎ たまねぎ 1,405 47.56	t	ねぎ たまねぎ 300 50	円/kg	663,784千円 (生産支援事業と整備事業の重複を除いた実数)	2	85.1 ha	ねぎ たまねぎ 2,212 120	t	ねぎ たまねぎ 300 50	円/kg	553,658千円 (生産支援事業と整備事業の重複を除いた実数)	R2	89.12 ha	ねぎ たまねぎ 2,073.7 33	t	ねぎ たまねぎ 266.1 50	円/kg	ねぎ たまねぎ 304 50	円/kg	ねぎ たまねぎ 359.3 50	円/kg	ねぎ たまねぎ 1.172	ねぎ たまねぎ 646,723千円 - 447,439千円	JAの年間販売実績との比較で検証	92.9%	(648,373千円) 3千円- 447,439千円 /(663,784千円- 447,439千円)	夏場に発生した想定以上のゲリラ豪雨の影響により、湿害や病気の発生が多発し、出荷物の秀品率低下、ロス率増加に繋がっており、販売金額が計画を下回ってしまった。今後、JA部会担当者による作型に基づいた適宜巡回により、優良ほ場の選定や定植前のプロソイラ等による心土破砕、排水溝の設置等の排水対策の実施、生育期間を通して、特に大雨が降った後の徹底した病害虫予防の実地について指導し、目標達成を目指す。また、労働力不足が原因で規模拡大が図れない生産者への個別訪問と米単作農家へ園芸作物推進のチラシを配布することで、新規生産者の確保を図り、選果施設利用の促進を図る。	園場内の排水性低下に伴う滞水や降雨による土寄せ作業の遅延が生ずる等、品質低下に繋がっており、販売金額が目標に到達しなかった要因のひとつになっている。このことから、JAと連携し、顔縁明渠など基礎的な排水対策の指導徹底を行うとともに、排水排水を利用した地下かんがいシステムなど新技術導入を普及啓発することによって収量の安定・向上が図れ、今後の目標達成は可能であると判断している。一方、対象作物の栽培面積は、目標85.1haに対して、実績が89.1haとなり目標到達したことは評価できる。	複数年度事業(H28・H30事業実施)の場合、H28年度の実績値は目標年度(H30年度)に報告した数値を入力(固定)するルールとなっているが、H28年度事業実施者も直近の実績値(H29年度)に揃えることと達成率は106.8%となり、目標に到達している。	106.8% (678,585千円- 447,439千円) /(663,784千円- 447,439千円)		
R3 評価【達成】	栃木市農業再生協議会	13	大平	ブドウ	雨除け施設を導入することにより、収量増加・品質向上・農業経営の安定化を図る	販売額の10%以上の増加	28	159,093千円	15.54 ha	152 t	1,050円/kg	1,024千円/10a	R2	178,442千円	15.54 ha	158 t	1,127円/kg	1,148千円/10a	2	202,037,000	15.54 ha	161 t	1,255円	H28宇都宮市中央卸売市場	R2宇都宮市中央卸売市場	0.686	189,086千円	事業取組み(地区)生産者の、青色申告書、白色申告書のふどう販売額を現状値とし、以降は毎年同条件での販売実績データを検証する。	【達成】 155.0%	(189,086千円) /(178,442千円) *100	12名中9名が早くも目標値に達成しているが、目標値に達成していない3名のうち、2名は順調に売上を伸ばしているが、もう1名については露地とハウス両方で生育がうまくいかず実産年産の数字は下がってしまっている。引き続き、目標年度の事業効果の発現に向け、他の取組主体と情報交換等をさせるなど、取り組みを支援していく。	導入された雨よけハウスにより、病害の抑制と品質の向上が図られたことにより、収量の増加が図られた。雨よけハウスの導入による経営の改善・安定化が産地に普及されたため、引き続き経営の安定化に向けた支援を行っていく。	※市場出荷分のみ価格補正を適用した R2実績：202,037千円 うち市場出荷：41,246千円 うち直接販売：160,791千円									
R3 評価【達成】	栃木市農業再生協議会	14	岩舟	ブドウ	雨除け施設を導入することにより、収量増加・品質向上・農業経営の安定化を図る	販売額10%以上の増加	28	111,087千円	9.76 ha	96 t	1,160円/kg	1,138千円/10a	R2	127,175千円	10.24 ha	105 t	1,212円/kg	1,243千円/10a	2	174,394千円	10.24 ha	110 t	1,589円	H28宇都宮市中央卸売市場	R2宇都宮市中央卸売市場	0.686	128,739千円	事業取組み(地区)生産者の、青色申告書、白色申告書、収支決算書のふどう販売額を現状値とし、以降は毎年同条件での販売実績データを検証する。	【達成】 109.7%	(128,739千円) /(127,175千円) *100	資材の導入により、生産性が向上し、販売額の増加につながった。引き続き、事業効果が継続するよう取組を支援していく。	導入された雨よけハウスにより、病害の抑制と品質の向上が図られたことにより、収量の増加と販売単価の向上が図られた。引き続き、品質向上に向けた指導を徹底することで、次年度の目標達成に向けた支援をしていく。	※市場出荷分のみ価格補正を適用した R2実績：174,394千円 うち市場出荷：145,399千円 うち直接販売：28,995千円									
R3 評価【達成】	上三川町農業再生協議会	16	上三川町宇都宮市	トマト	①低コスト耐熱性ハウスの新設・増設による生産量の拡大および長期間の収穫による収量の増加 ②高所作業車による多段収穫を行うことによる収穫量の増加	販売額10%以上の増加	28	54,826,750	1.25 ha	171 t	321円/kg	円/kg	R2	120,071,000	2.28 ha	409 t	293円/kg	円/kg	R2	105,171,898	2.28 ha	272.1 t	386円/kg	334(東京都中央卸売市場)	289(東京都中央卸売市場)	1.156	121,415,373	青色申告等の書類によるトマトの販売額で検証	【達成】 102.0%	(121,415,373円) - 54,826,750円 /(121,415,373円- 54,826,750円)	目標は概ね達成できたが、病害虫防除の徹底や作型の検討など、技術面の問題を解決できるように、引き続き事業効果の発現に向け取り組みを支援する。	目標は概ね達成出来たが、技術面での課題のある生産者については県とJAと連携し技術指導を徹底する事で販売額の増加を支援する。										

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加 (続き)

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標																スマート農業推進枠	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価)		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考	目標の実現可能性		
					現状				目標				実績				導入・定着の取組の実施内容		事業実施前年度	目標年度													
					年度	面積 [ha]	生産量又は出荷量 [t]	価格(販売単価) [円]	生産コスト [円]	年度	面積 [ha]	生産量又は出荷量 [t]	価格(販売単価) [円]	生産コスト [円]	年度	面積 [ha]	生産量又は出荷量 [t]	価格(販売単価) [円]	生産コスト [円]	前年度		目標年度											
R3評価【未達成】 足利市農業再生協議会	17	足利市	トマト	新たなトマト選果施設を整備し、多くの規格(等級)に対応できる高性能な選果機を導入し実需者ニーズに対応した高品質トマトを生産する。また、選果機の計画的な稼働、選別作業の省力・作業時間を軽減し、農業者の所得向上に取り組む。	販売金額の17%以上の向上	29	901.864.000円	18.1 ha	3.361 t	268 /kg	/	2	1,055,640,000円	19	ha	3,704 t	285 /kg	/	2	814,264,950円	18.5 ha	2,907 t	280 /kg	/	321円 (H29東京都中央卸売市場)	321円 (R2東京都中央卸売市場)	814,264,950円	対象者の出荷量を出荷終了後に集計し検証	【未達成】 ▲56.9% (814,264,950-901,864,000) / (1,055,640,000 - 901,864,000)	台風19号による被災により、苗の植え直しを余儀なくされ、例年と比較し生育状況が悪かったため、目標が達成できなかった。目標達成に向け関係機関と連携し、生産者の栽培技術の向上に努め、また有利販売につながるよう、実需者ニーズにあった出荷に取り組む。	外部要因による被災(台風19号)により、生産量が減少したことは理解できる。今後、被災に遭いにくい施設環境の整備や栽培技術の向上により、目標とする生産量を確保すると共に、これまで以上に有利販売に向けた販促活動等を行い目標とする販売金額を達成するよう努力を期待する。		